

講演界のニューヒロイン★

神田蘭のドラマチック講演&トークイベント

11月20日(金)、講演師として活躍する神田蘭さんにお越しいただき、歴史上のヒロインを題材にした創作講演を通して、参加者に笑顔と元気を届けていただきました。



講演師/講演師 神田蘭さん

女優・ナレーター・パーソナリティーとして活動後、講演師の世界へ。2004年1月に神田紅師匠のもとに弟子入り、2008年6月に二ツ目に昇進。定期的に開催する独演会を「レビュー講演」と銘打ち、踊り・歌・コント・映像ありのエンターテインメントショー講演を創り続けている。

明るく元気で、人を惹き付ける声。そして、楽しい語り口に、参加者は一気に引き込まれていきました。講演は「初めて聴く」という人が大半だった今回のセミナー。まずは講演という文化や、その現状について。現在、落語家は1000人ほどいるのに対し、講演師はわずか80人、そのうち50人は女性という意外な現状が紹介されました。その後、語りのプロである神田さんによる、身体を使った発声練習。「ランランラン神田ランド」神

田さんの名前をみんなで大きな声で呼ぶという驚きのプログラムを、参加者は照れながらも楽しんでいました。そして、メインとなる講演。神田さん自身も大好きだという人物、五千円札でお馴染み、樋口一葉の物語です。女流作家として活躍が期待された矢先、病により24歳の若さで亡くなった悲運の女性。彼女の人生を、史実と創作を織り交ぜたフィクション講演で色鮮やかに伝えてくれました。メリハリの利いた語り



神田さんの講演に聴き入る参加者



参加者全員で講演の体験も。皆さん笑顔いっぱい楽しんでいました

講演とは 日本の伝統芸能のひとつ。釈台しゃたいと呼ばれる小さな机の前に講演師が座り、張り扇でそれを叩きながら、軍記物などの歴史物語や創作物語を調子よく語るものです。落語が「会話」によって成り立つのに対し、講演は「話を読む」芸といえます。

口とストーリー、そしてふんだんに織り込まれたユーモア。ドラマチックで儂い人生に、参加者は身を乗りだして聴き入っていました。さらには、講演の体験も。姿勢を整えて発声練習の後、軍記物で馬を馳せる一節を読み上げます。「ハイヨ！パップパップ…」参加者の声も次第に大きく、楽しみに響くようになりました。「いつも明るく楽しく、お客様に笑って帰ってもらえるような講演を心掛けています」と神田さん。その言葉通り、笑い声にあふれたセミナーとなりました。



一度アクセスしてみてください <http://www.danjyo.pref.kumamoto.jp/> ならんで

発行/ 熊本県男女共同参画センター  
TEL.096-355-1187 FAX.096-355-4317  
E-mail danjocenter@pref.kumamoto.lg.jp  
URL <http://www.danjyo.pref.kumamoto.jp/>  
〒860-8554 熊本市中央区手取本町8-9  
くまもと県民交流館パレア内 (Vol.38 平成28年2月発行)

熊本県環境生活部 県民生活局 男女参画・協働推進課  
TEL.096-333-2287 FAX.096-387-3940  
E-mail danjokyoudou@pref.kumamoto.lg.jp  
〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

発行者:熊本県  
所属:くまもと県民交流館  
発行年度:平成27年度

この用紙は再生紙を使用しています。